学校番号	１０１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)総合音楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽は人生において友達のようなものです。絶対にないといけないものではありませんが、側にあると心がほっとしたり、慰さめられたり、時にはグッと背中を押してもらえたり。
3 年生の総合音楽では声楽・器楽・鑑賞・創作の音楽 4 分野を総合的に学習し、自分の思いや学んだことを発表やプレゼンでみんなに伝えます。時には日頃の成果を発揮しに、外部演奏に行くこともあります。

2　学習の到達目標

・歌唱分野では、日本語だけではなく外国の言葉や母音だけで演奏する曲など様々な曲を通して音楽の多様性について理解を深めることができる。器楽分野では、基本的な音楽知識、演奏技術を身に付け、個人やグループで発表に生かすことができる。創作分野では、イマジネーションを働かせオリジナル作品を作ることができる。
・世界の演奏家のインタビューや名画等、普段はあまり見る機会の少ないようなものも積極的に鑑賞し、自分の表現の幅を広げることができる。
・自らの演奏・表現に主体的・協同的に取り組み、音楽との関りを深める態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点（a, b, c）を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本の歌・世界の歌	・季節の歌 ・日本の名曲:演歌からロックまで ・童謡クイズ ・世界の名曲	a:曲想や言葉、歌詞、発声との関わりについて理解し、発声、基本的な身体の使い方、表現したいことを伝えるための歌唱技術を身に付けている。 b:旋律や歌詞、テクスチュア等の演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
	楽典基礎	・演奏に必要な楽典の基礎的な学習 ・基礎的なソルフェージュ(リズム打ち　他)	a:曲想とリズム、音色や奏法との関わりについて理解し、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏するために必要な技術を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、創作に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:曲想と音色や奏法との関わりについて理解したり、音楽を変化させ表現する奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
	器楽基礎	・鍵盤楽器(ピアノ、木琴、鉄琴、プッシュ式ハンドベル等)の演奏 ・ギター、リコーダー、ハンドベル等(選択)の演奏	a:曲想とリズム、音色や奏法との関わりについて理解し、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏するためのリズム表現に必要な技術を身に付けている。 b:旋律やテクスチュア、リズム演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:曲想と音色や奏法との関わりについて理解したり、リズムを生き生きと表現する奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協同的	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り

			に活動に取り組もうとしている。			
	鑑賞	・音楽番組や演奏家、作曲家等へのインタビュー ・世界の名曲 ・世界の名作	b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したりそれらの価値について考えるとともに、音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを自ら味わって視聴している。 c:音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
2学期	自由発表	・ソロで、グループで、好きな曲を演奏する。 ・それぞれの発表にコメントを記入し、鑑賞力、評論力をつける。	a：曲想とリズム、音色や奏法との関わりについて理解し、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏するために必要な技術を身に付けている。 b：旋律やテクスチュア、創作に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 c：曲想と音色や奏法との関わりについて理解したり、思いを伝え表現する奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協同的に発表の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
	合唱を楽しむ	・2 部合唱、3 部合唱の曲 ・グループで合唱する。	a:曲想や言葉、歌詞、発声との関わりについて理解し、発声、基本的な身体の使い方、表現したいことを伝えるための歌唱技術を身に付けている。 b:旋律や歌詞、テクスチュア等の演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c：音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協同的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り

	器楽合奏を楽しむ	・様々な楽器を用いて器楽合奏を楽しむ。 ・外部演奏に取り組む。	a：曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、様々な楽器の奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b：旋律やテクスチュア、様々な楽器の演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c：曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、様々な楽器の奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協同的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
	鑑賞	・音楽番組や演奏家、作曲家等へのインタビュー ・世界の名曲 ・世界の名画	b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したりそれらの価値について考えるとともに、音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを自ら味わって視聴しいている。 c:音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り
3学期	物語を表現しよう	・グループでオリジナル物語を創作し、演奏で発表する。	a：曲想とリズム、音色や奏法との関わりについて理解し、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏するために必要な技術を身に付けている。 b：旋律やテクスチュア、創作に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c：曲想と音色や奏法との関わりについて理解したり、音楽を変化させ表現する奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協同的に創作・発表の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り

	自由発表	・ソロで、グループで、好きな曲を演奏する。 ・それぞれの発表にコメントを記入し、鑑賞力、評論力をつける。	a：曲想とリズム、音色や奏法との関わりについて理解し、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏するために必要な技術を身に付けている。 b：旋律やテクスチュア、創作に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 c：曲想と音色や奏法との関わりについて理解したり、思いを伝え表現する奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協同的に発表の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度